


(様式1)

## 親子の学び応援講座実践報告書

|  |  |
|--|--|
| P T A 名  | 会津若松市立河東学園小中学校P T A  |
| 講座開催日  | 平成30年10月20日(土) 13:30~15:00   |
| 会 場  | 河東学園小学校ラーニングセンター及びP C室   |
| 参加人数   | 120名(児童生徒57名, 保護者55名, 教職員8名)   |
| 実践活動テーマ  | プログラミング講座  |
| テーマ設定の理由及び実践活動のねらい   | 2020年度から小学校で全面実施される新学習指導要領では、プログラミング教育が必修となり、各教科等の特質に応じて、児童・生徒がプログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために、児童・生徒に必要な論理的思考力を身に付けさせ、学習活動を計画的に実施することとされている。社会の情報化が急速に進む中で、子どもたちにこのような力を身に付けさせることが重要であるとともに、保護者の関心も高まっていることから、小中合同P T Aにおいて、親子で学ぶ機会を設けたいと考え、このテーマを設定した。  |
| 講座及び実践活動内容   |  |
| 1 講座   | 「初心者から始めるプログラミング体験」  |
| 2 講師   | 株式会社 P L I S E 西川 直登 様 他7名   |
| 3 内容   | <ul style="list-style-type: none"><li>○ ビジュアルプログラミング言語の一つである「Scratch」を利用したプログラミングの実際について、講師が準備した資料をもとに親子で体験した。実際にP Cを操作することにより、体験を通じた活動ができた。</li></ul>   |
| 4 感想   | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 初めての体験でしたが、楽しかったです。</li><li>○ プログラミングの機会に触れることができ、子どもも楽しそうでした。</li><li>○ おもしろかった。考えたものができた時の喜びがある。</li><li>○ 必要性を感じられたが、同時に難しさも感じ、参加してよかったと思う。</li><li>○ 講師の方がたくさんいたので、困ったときにすぐ対応していただけてよかった。</li><li>○ 今回の講座への参加で、プログラミングは初めてでした。ていねいに教えていただき、子どもが興味をもつことができたと思います。貴重な体験をありがとうございました。</li><li>○ プログラミングの楽しさを子どもと一緒に体験することができた。授業に導入される前に知ることができ、よい機会になりました。</li></ul> |
|  |  |

※講座及び活動内容の概要を記入してください。また、内容が分かる写真等を挿入してください。参考資料があれば添付してください。